

日本岩石鉱物鉱床学会 研究奨励賞 第44回受賞者

中村 大輔 会員

京都大学理学部地質学鉱物学教室 リサーチフェロー
京都大学総合人間学部, 佛教大学非常勤講師

中村大輔会員は化学熱力学を基礎にした変成岩の相平衡論的岩石学研究、ことに精密な地質温度計圧力計の開発と、変成岩の精密な温度圧力履歴と上昇テクトニクスの解明の研究で優れた業績をあげた。圧力計の開発においては、次隣接イオンの相互作用まで考慮した Bragg-Williams 型の近似を用いることによってオンファス輝石の熱力学的モデルの精密化を行い、ザクロ石-オンファス輝石-藍晶石-コース石(又は石英)の

鉱物組合せを用いた新しい地質圧力計を考案した。これにより、藍晶石エクロジャイトの変成圧力条件の正確な推定が可能になり、この地質圧力計を中国とボヘミアの超高压変成岩に適用することによりその有効性を示すことができた。また同会員は現在変成岩岩石学で注目を集めているシュードセクション法と同等のプログラムを独自に開発し、変成岩の全岩化学組成と鉱物組成の関係のシステムティクスの解明に取り組んでいる。

同会員の化学熱力学の深い理解と適切な応用、あわせて変成岩微細組織の注意深い観察と深い考察は、一面地味であるだけに、ややもすれば若い世代の研究者には軽視されがちな風潮のある昨今、高く評価されるべき優れた特質である。

同会員の業績の多くは一流の国際誌に掲載されており、変成岩岩石学の分野で日本を代表する若手研究者の一人として世界に認められつつあり、今後のさらなる活躍が期待される。

よって、日本岩石鉱物鉱床学会の研究奨励賞該当者として適格であると認め、ここに推薦する。

中村大輔 会員の略歴

1970年8月19日生まれ
1993年5年 京都大学理学部 卒業
1993年4月 京都大学大学院理学研究科修士課程地質学鉱物学専攻入学
1995年3月 同修了
1995年4月 同大学院 博士後期課程 地球惑星科学専攻 進学
" 日本学術振興会特別研究員(DC1)3年間
1998年3月 同修了・博士号取得
1998年4月 京都大学研修員(1年間)
1999年4月 日本学術振興会特別研究員(PD)(2年間)
於:東京工業大学大学院理工学研究科
2001年3月 日本学術振興会特別研究員(PD)(1年間)
於:京都大学大学院理学研究科
2002年4月 京都大学研修員(理学部地質学鉱物学教室)(1年間)
佛教大学において非常勤講師 現在に至る
2003年4月 京都大学理学部リサーチフェロー,
京都大学総合人間学部非常勤講師
現在に至る

中村大輔 会員 最近の主要論文

Daisuke Nakamura, Martin Svojtka, Kosuke Naemura and Takao Hirajima (in press) Very high-pressure (>4 GPa) eclogite associated with the Moldanubian Zone garnet peridotite (Nove Dvory, Czech Republic). *Journal of Metamorphic Geology* (accepted in May 2004).

Daisuke Nakamura (2003) Stability of phengite and biotite in eclogites and characteristics of biotite-orthopyroxene-bearing eclogites. *Contributions to Mineralogy and Petrology* 145, 550-567.

Daisuke Nakamura (2002) Kinetics of decompressional reactions in eclogitic rocks -formation of plagioclase coronas around kyanite. *Journal of Metamorphic Geology* 20, 325-333.

日本岩石鉱物鉱床学会
研究奨励賞審査委員会
委員長 小畑 正明